

## 5. Mugega村の児童と脆弱世帯への水アクセスと衛生環境の改善(ウガンダ)

- 実施団体: Bkind Foundation (BKF) (#123)
- 実施地: ウガンダ西部地域キエグワ県カスル副郡カラマ行政教区Mugega村
- プロジェクト予算: 2,621ドル(JWFファンド1,500ドル、団体400ドル、受益者721ドル)
- 受益者数: 650人(男性120人、女性380人、子ども150人)
- 実施地の水問題:

Mugega村の水アクセスは深刻な課題である。多くの世帯が安全でない遠くの水源に依存している。この生徒や住民は安全性の確保されていない遠くの水を汲むため長距離を歩き水系感染症のリスクが高い。さらに給水施設を維持管理できず、水問題による危機の発生を繰り返してきた。



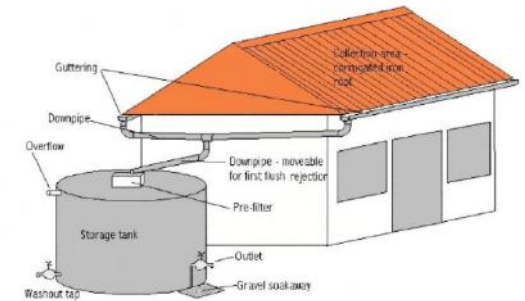
Mugega村の汚れた水汲み場



壊れて使われていない井戸



湧水源保全改修予想図



ナーサリー学校雨水貯留システム予想図

- 主な活動内容: 打ち抜き井戸1基改修、湧水水源1カ所の保全、Mugegaナーサリー学校への2,000ℓ雨水貯留槽システムの設置、水質検査。住民と学校向けWASH啓発活動4回の実施、水利用者委員会の結成と研修による維持管理。
- 特長(持続性): 住民で構成される水利用者委員会によって、3施設の統合運用・維持管理を行う。必要経費は関係者合意のもとで徴収する。小修理も実施する。学校は雨水貯留システムの日常管理と児童衛生指導を行う。活動は、県の水事務所の支援と管理下で行われる。
- 実施団体: 2020年設立、政府登録非営利団体。脆弱な共同体のエンパワーメントを図り、強靱で健康的かつ自立した地域社会の構築を目指す。主な活動には、生計支援、環境保全、WASHの推進、地域教育、子どもや若者支援があげられる。